

# 被災原発を 再稼働させて 大丈夫!?

入場  
無料

## 市民による 女川原発の安全性を 問うシンポジウム

日時

2015年 **11**月**23**日(月・祝)

12:30~16:15 (開場 12:00)

会場

仙台市情報・産業プラザ 多目的ホール  
(仙台市青葉区中央1-3-1 JR仙台駅前アエル5階)

東北電力は女川原発2号機の再稼働へ向けて適合性審査を申請し、原子力規制委員会での審査が進められています。しかし新規制基準に適合すれば、原発は「安全」なのでしょうか。宮城県は、県民の声に押され「女川原発2号機の安全性検討会」を設置しましたが、本当に県民の命と安全を守る内容の検討がされているのでしょうか？

そもそも、あの3.11巨大地震に襲われて緊急停止(スクラム)した「被災原発」を再稼働させてよいのでしょうか。福島原発事故の原因も究明されていないのに、福島第一原発と同型の女川原発を再稼働させてよいのでしょうか。原発の構造と現場を熟知した技術者をパネリストに迎え、大勢の県民も参加して、ともに考えたいと思います。ぜひお越しください。

パネリスト:

井野博満氏

(東京大学名誉教授、金属材料学)

小倉志郎氏

(原発プラント技術者、元東芝)

後藤政志氏

(原子炉格納容器設計者、元東芝)

コーディネーター:

菅波完氏(高木仁三郎基金事務局)

<シンポジウム呼びかけ人>

青木正芳(弁護士) 大内秀明(東北大学名誉教授) 鹿野文永(元鹿島台町長) 川井貞一(前白石市長)  
佐々木功悦(前美里町長) 庄司捷彦(弁護士) 鈴木宏一(弁護士・みやぎアクション代表)  
長谷川公一(東北大学大学院教授) 山田いずみ(女性ネットみやぎ共同代表)

主催:市民による女川原発の安全性を問うシンポジウム実行委員会 共催:原子力市民委員会  
TEL&FAX022-373-7000(篠原) E-mail:hag07314@nifty.ne.jp(館脇)